

あぐり



第2回定例会

決まったこと	30年度補正予算・条例改正他	>>> P.2
主な質疑	補正予算	>>> P.4
一般質問	3人が町政を問う	>>> P.5
委員会報告	総務厚生・産業他	>>> P.8
まちの元気	農家民宿「風和里」	>>> P.10

和東保育園七夕会

みんなの願いがかないますように

平成30年度
補正予算

「お茶の駅」構想へ グリーンティ和東改修整備

【補正予算の主な事業】	
○グリーンティ和東周辺駐車場工事費用	3600万円
○グリーンティ和東改修工事費用	5449万円
○MTBスタートコース設計委託料	466万円
○お茶の駅構想事業費	1690万円
○観光PRグッズ作成委託料	122万円
○道路新設改良費用	760万円
○野猿追い払い捕獲業務委託料	138万円
○B&G海洋センター簡易日除け工事費用	85万円

今回の補正予算では、「お茶の駅」構想に向けて補助金を活用した取組みが進められます。平成29年の和東町内における観光入込客数及び観光消費額が前年度を上回り、過去最

高の15万人を超える結果となりました。観光の拠点となっているグリーンティ和東のトイレ・屋根等の改修事業において予算が盛り込まれました。

一般会計補正予算（第1号）
1億4920万円を追加し
総額32億3120万円に

第2回定例議会は、6月13日から20日までの8日間開会されました。町長提出の平成30年度補正予算、平成29年度補正予算（専決）、3件の条例制定等、議員発議の2件の意見書を審議しました。
審議、採決の結果、町長提出の議案等は原案どおり可決し、議員発議の2件の意見書は否決されました。

特別会計予算

簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
町道山口線拡幅改良工事に伴う水道管布設替工事費用等に3316万円を追加。
下水道事業特別会計補正予算（第1号）
管渠管理費としてマンホールポンプ修繕費用等に73万円を追加。
介護保険特別会計補正予算（第1号）
事業勘定の国・府への返還金等に1554万円を追加。



改修されるグリーンティ和東

条例改正等

和東町税条例の一部改正

地方税法等の一部改正により個人町民税の非課税の範囲やたばこ税の改正、固定資産税の課税標準を軽減された。

和東町地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の特例に関する条例の制定

※地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に伴

い、事業計画に従って地域経済牽引事業を実施する事業者を支援するため、固定資産税の課税免除の特例を定められた。

注※地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域経済を牽引する事業

和東町総合保健福祉施設整備検討委員会設置条例の制定

第4次総合計画基本計画等に定める総合保健福祉センターの整備を円滑に進めるため調査・審議を行う総合保健福祉施設整備検討委員会を設置。委員定数は12名以内、委員構成は町議会代表、学識経験者、保健・医療及び福祉関係者、また住民からも公募される予定です。

意見書

第2回定例会（6月）に次のとおり意見書が提出されました。

カジノの解禁に、推進に反対し中止を求める意見書

否決

提案者 岡本正意 議員
賛成者 3人
反対者 6人

「国民健康保険制度の構造問題」の早期解決を求める意見書

否決

提案者 岡本正意 議員
賛成者 2人
反対者 7人

各議員の賛否

平成30年第2回定例会(6月)に、町長から提出された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名									
			吉田哲也	藤井清隆	村山一彦	井上武津男	岡田泰正	岡本正意	畑武志	竹内きみ代	小西啓	岡田勇
可決	本	専決処分の承認を求めることについて和東町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
可決	本	平成30年度和東町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-

※会議区分 本は本会議 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない。

岡田勇議長は本会議の採決に加わらない。

補正予算関連 主な質疑

問 公用車へのドライブレコーダー設置をどう進めるか。

答 既設の4台に加えて、今回10台増やし、以後順次取り付ける。

問 観光PRグッズ作成委託料122万9000円とはなにか。

答 お茶の試飲用紙コップや手提げ袋を補充する費用です。

問 大阪府北部地震について本町での震災時の問題点と対応は。

答 携帯電話がつながりにくいので、関係機関に改善を要望する。また緊急時の行動マニュアルも作りたい。

問 ブロック塀などの点検はどうか。

答 和東小学校、中学校については点検済みであり、民家などの壁については、区長さん等と連携確認していききたい。

問 補正予算の中で観光関係のものが大半を占めているのは、他の行政課題との間でバランスを欠いているのではないか。

答 今回のタイミングで、産業を活性化させ、住民福祉を向上させる為には、観光に力を入れる必要がある。

問 和東運動公園駐車場周辺整備の工事請負費3600万円の内容は。

答 グ린ティ裏の駐車場

を上下2段に分けて、今回は下部と周辺の仕上げを行う予定です。

問 大型バスの駐車スペースは。

答 河川側は入り口が厳しいので、グ린ティ側からの進入を考えている。

問 石寺の茶畑見学の為、高橋バス停付近に観光バスを止めるのは支障があるのでは、これを回避する手だては。

答 グ린ティ和東裏駐車場に誘導したい。

問 駐車場整備に巨額の費用をつぎ込むのは、見通しのきかない観光という事業をしているのではないか。

答 観光行政を進める為には、拠点作りが必要であり、その為の駐車場も多目的なものとし、財源もその都度確保していく。

問 グ린ティ和東改修工事の内容と工事期間中の対応について問う。

答 トイレの増設と下水道化、屋根の改修、売り場の

拡張を行う。また工事期間中は、和東茶カフェはテラス和東にて販売を行う。

問 お茶の駅構想とは。

答 グ린ティ和東周辺を平成27年策定の地方創生総合戦略に基づいて、町の魅力を満喫できる場として整備する計画です。

問 この構想は十分な住民的議論を経ているのではないか。

答 国の流れに添ったものであり、地域総合計画の中で基幹産業を押し出したものだ。

問 お茶の駅構想の牽引事業について、確かな論拠もなく、特定の事業者を優遇するものであり、町独自の支援も必須とはいえないと考えるが。

答 和東町には大きな企業が少なく、小さな事業者を応援し育てる事が重要と考える。

問 ワールドマスターズゲームズのマウンテンバイクコースの設計に関西広域

連合の補助金がないのはなぜか。独自で資金は賄えるのか。

答 広域連合は自主財源はなく補助金は難しい。近隣の自治体とも連携し、起債を使い、身の丈にあった整備をするため、設計を委託する。

問 ふるさと納税の使い途の文言が、抽象的すぎて、もっと具体的に表現すべきではないか。

答 第4次総合計画の5つの柱を中心に、わかりやすくするよう検討する。



18種類に整備されたふるさと納税返礼品(一例)

町政を問う

3人が一般質問

問
観光の問題点と対応策は

答
住民と観光客の協働した町づくりが必要



井上 武津男 議員

問
和東茶カフェ裏駐車場の整備予定は。

答 農村振興課長
拡張整備のため、5月14日に入札を執行した。工期は9月28日まで。現在発注済工事で全て完成とならないので、さらなる整備をしたい。

問
観光客受け入れ環境の充実。

答 地域力推進課長
トイレについては、縁側カフェとして、7カ所の登録、トイレカーの導入、グ

リンテイ和東の改修により増設。食事については、茶源郷グルメマップの配布、観光案内看板については誘導表示を関西電力と協議して、電柱の活用を検討している。

問
農家と観光客との共存を。

答 地域力推進課長
個人の茶畑へ入り写真撮影をする観光客に対し、町の観光パンフレット冊子には注意書きの記載、観光客の集中する場所には啓発看板の設置を準備する。

問
観光茶摘み体験客への町からの返礼は。

答 地域力推進課長
要望があれば考えたい。

問
道路の問題は。

答 建設事業課長
幅員の狭い道端へ駐車されいている方は、茶カフェへ案内、帰りの誘導看板は府と調整したい。和東井手線は今年8月中旬までに工事完成予定。

マウンテンバイク世界大会に向けた取り組みについて

問
世界大会を行うまでの国内大会の有無は。

答 地域力推進課長
平成27年から日本自転車競技連盟公認レースのCJ2クラス大会を実施、平成31年にはその上のクラスCJ1の大会、32年には国際大会を、33年5月の世界大会に備えていく。

問
和東の選手の育成は。

答 町長
ビギナーズスクールを茶源郷まつりで体験実施してきた。町のスポーツとして根づくよう取り組んでいきたい。

問
競技コースの完成予定は。

答 地域力推進課長
平成31年秋までには完成したい。

問
道路の完成予定は。

答 町長
宇治木屋線のトンネル工事は、新名神宇治田原インターチェンジの完成に合わせ、来年秋以降の着工予定。

問
実行委員会の設置は。

答 地域力推進課長
今年9月か、10月に立ち上げたい。



ゆぶねMTB LANDで開催されているマウンテンバイクイベント

女性や高齢者視点での 防災対策は

女性の役割は非常に 重要と認識している



竹内 きみ代 議員

問 人権ふれあいセンターで対応されてきたが庁舎内でのハローワーク開設できないか。

答 町長
ハローワーク木津や山城保険所等関係機関と調整を図りながら、今あるサービスを充実させることが望ましいと考える。

問 地方版ハローワークは全国知事会が国に要望して実現したものであり、28年8月現在、全国101自治体が立ち上げている。本町でも新たなビジネスが生まれている。5年・10年先を見据えて取り組むことが行政の役割では。

答 町長
雇用促進協議会や今後の実態を見定めながらマッチングさせ進めてまいりたい。

問 自主防災組織立上げの現状と課題は。

答 総務課長
現在、南区と木屋区で自主防災組織を中心に活動を行っている。初区長会で各区での立上げをお願いしている。

答 総務課長
社会福祉協議会、民生児童委員、老人クラブ、ふれあいサロンでの防災講座の開催を行っていく。

問 女性視点での「防災ブック」の作成を。

答 総務課長
防災ブックの作成は必要であり早速、女性委員会の設置を検討する。

問 防災会議に女性の登用を。

答 町長
現在女性の委員は1名であり、今年度の改正で関係機関に働きかけていく。

問 現在の備蓄品目と今後の補充計画は。

答 総務課長
食料品ではパン、ご飯、飲料水。日用品では紙おむ

問 今こそ、全区でのキメ細かい「防災出前講座」の開

つ、毛布、発電機、屋外用投光器、簡易トイレセット。感染症対策としてマスク、エアータント、感染防護対策キットを備えている。

地方版ハローワークについて

問 人権啓発課で取組んでいる就労への効果と実績は。

答 人権啓発課長
昨年度の相談者数は28名です。毎金曜日に最新の求人情報や資格取得のための職業訓練及び企業の就職説明会セミナーの情報誌を配架し就労支援を行っています。

問 職業安定法の改正により、地方版ハローワークが自治体で自由に無料職業紹介ができるよう規制緩和された。全国で多くの自治体が取組んでいる。本町でも取組めな

答 町長
今後必要なのは、地域の強みを生かした産業の育成、戦略的な雇用政策、就職支援である。移住支援や人口回復への新たな雇用の創出に向け、各関係機関と調整を図りながら取り組んでいきたい。



女性の視点で地域の女性たちと協力して作成された防災ノート(京都市)

問

観光振興のあり方
住民参加で検討すべき

答

課題解決を図りつつ、
振興にとりくむ

問

住民生活への影響が出て
いる事への認識は。

答 町長

悪影響を与える場合は直
ちに対応するが、問題が起
これば中止、禁止では発展
しない。

問

駐車場やトイレの整備、
必要な安全対策を。

答 地域力推進課長

駐車場整備を継続して進
め、トイレカーの活用や縁
側カフェを拡大したい。

問

対応が後手に回ってい
る。生活への支障はすでに
起こっており、直ちに対応

すべき。

答 地域力推進課長

問題は認識しており対策
を検討したい。

問

「カジノ解禁」に反対を

カジノ整備への町長の認
識、立場は。

答 町長

経済効果が期待される反
面、ギャンブル依存症等の
デメリットが懸念される。

問

カジノは刑法が禁じる犯
罪。反対の立場を明確にし
中止要請を。

答 町長

態度を示すだけの材料を
持ち合わせていない。



岡本 正意 議員

子育て支援の充実に

問

学童保育の改善へ、保育
料引下げ、午後6時半まで
の延長を。

答 福祉課長

近隣市町村の保育料を参
考に検討する。時間延長の
ニーズを把握し検討した
い。

問

高校生通学補助の充実
を。

答 総務課長

バス路線の利便性確保を
最優先に取組む。

問

拡充の方向が消え、大き
く後退した答弁。町長の拡

充意向を踏まえ早期に具体
化を。

答 総務課長

負担の大きさは認識して
おり、福祉や教育委員会と
協議、検討している。

台風、豪雨災害への対策
強化を

問

タイムライン（防災行動
計画）の具体化は。

答 総務課長

木津川は府と調整済み
で、和東川は3月に府に提
出し協議中。

問

昨秋の台風の教訓を踏ま
えた対応体制の見直しは。

答 総務課長

開票事務から一部管理職
を外すなど見直しをした。

問

「安全に余裕をもって」
避難するための情報発信、
要配慮者の避難計画の具体
化を。

答 総務課長

福祉課が把握する情報
を、区や消防団と共有、連
携し役立てたい。

問

災害情報の迅速な把握と
情報発信を。

答 総務課長

携帯電話への緊急通報を
実施した。ホームページで
の情報発信などにも取組
む。



早急な対応が必要な大型観光バスの駐車対策

総務厚生常任委員会

観光入込客数は
15万人を超える見込み

委員長 竹内きみ代

本委員会は、5月30日に平成29年度の主要事業の成果について事務調査を行いました。始めに堀町長から、この春、多くの観光客

に来ていただき土日には観光バスも入って来ている。地元住民の方には大変ご迷惑をお掛けしており、ご協力をいただいていることにお礼を申し上げたいと挨拶があった。

次に、平成29年度の決算見込みについて報告があり、一般会計で、歳入総額32億6081万円、歳出総額31億3800万円、実質収支は、9468万円の黒字となった。また、6特別会計では歳入総額23億5339万円、歳出総額22億5379万円となり、実質収支は1億160万円と全

ての特別会計で黒字決算となった。

総務課では、交通安全対策事業として各区長さんから要望のあったカーブミラーを9ヶ所設置、29年度から新しく防犯灯のLED化工事費用等に補助金を支給された。また、30年度からは街灯本数の基準を拡充されます。奈良交通に委託している路線バス運行維持補助金は、利用者の減少等により昨年度より補助金約150万円増の3321万円となり、今後利用促進や新たな公共交通のあり方を検討することが課題であると報告があった。

地域力推進課では、和東町PRパンフレット・グッズの作成や移住者呼び込む移住動画の作成、教育観

光やインバウンド等の農家民泊の受け入れも積極的に取り組まれた。農家民泊受入家庭登録も100軒を超え、29年度は、18ツアー、435名を受け入れ、今後一層の取組みを推進するとされた。また、29年の観光入込客数については、15万2984人で前年比5万8521人増加した。主な増加要因は、観光案内所やレストランカフェのオープンに伴う集計ポイントの増加などで、一人当たり平均観光消費額は5119円で前年比3507円の増加との報告があった。

福祉課では、障害者基本計画第5期障がい福祉計画を東部3町村で共同策定した。

委員からは、観光入込客数が年々増えているが、木津信楽線での観光バス停車時周辺の安全面の確保やトイレ・ごみの問題、観光客の受け皿が出来ていないが対応はどうか。星野リゾートと協定後の進捗状況は。国民健康保険事業が4月から京都府に一元化され激変

緩和期間中の税率の改正はあるのか。また、高齢者の自動車運転免許証返納は29年度3件あり、今後増加が見込まれることから足の確保も必要であり、相談体制等一定の仕組みが必要ではないか。その他、多くの意見・質疑が行われ、担当課長等からそれぞれ答弁を求め事務調査を終えました。

一部事務組合報告

相楽中部消防組合議会

5月16日、第1回臨時議会が開催され、府の交付金事業として、2つの事業が追加され、合計302万1000円の増加による第3号補正予算が専決処分事項として提案され、賛成者全員で承認されました。次に第5号議案として、加茂消防ポンプ自動車購入に際しての財産取得の件について審議され、賛成者全員により、原案どおり可決されました。



インバウンドの農家民泊受け入れ

その後、奥田副町長から平成29年度決算見込みについて、一般会計、特別会計合わせて実質収支1億9628万円の黒字決算であった。

製茶工場の製茶機械の入れ替え、多様化する悪質商法による被害、訪問販売等トラブルの相談をされている相楽消費生活センターで

と合計788万円を給付した。産地パワーアップ事業としてグリーンハザマ共同

1水源とする統合簡易水道事業は、すべてを和東中央簡易水道に統合し、平成30年度完成に向け事業を進めていると報告されました。

はじめに堀町長から29年度の出納閉鎖も終わり、またこの時期、碾茶は真っ最中であり終盤を迎え、忙しい時期を迎えている。今年のお茶の相場は、煎茶が高く、碾茶の平均が低く、厳しい状況にあると挨拶されました。

者の育成をはかり、地域ブランド確立の支援を行う青年就農給付金事業は、6名に合計788万円を給付した。産地パワーアップ事業としてグリーンハザマ共同

管理橋梁定期点検業務委託として、73橋を一括点検された。昨年8月と10月に発生した台風5号、21号により被害を受けた災害復旧事業は、測量設計業務や応急排土工事は実施されたものの、工事費等約4800万円が30年度へ繰越されることとなりました。7水源を

午後からは、グリーンティ和東周辺駐車場整備の状況やグリーンティ和東内のトイレ等改修工事について現地調査を行い、この日の事務調査を終えました。

本委員会は、6月1日に町長、副町長、関係課長・課長補佐の出席を求め、各課における平成29年度の主要事業の成果などについて事務調査を行いました。

農村振興課では、24事業の報告があり、和東運動公園駐車場等周辺整備事業としてグリーンティ和東周辺の駐車場整備が実施されたが、事業は完成しておらず、30年度予算へ繰越をしている。茶業の振興と後継

建設事業課では、和東町管理橋梁定期点検業務委託として、73橋を一括点検された。昨年8月と10月に発生した台風5号、21号により被害を受けた災害復旧事業は、測量設計業務や応急排土工事は実施されたものの、工事費等約4800万円が30年度へ繰越されることとなりました。7水源を

以上の報告を受けて各委員からは、農地最適化推進事業の選出や青年就農給付金事業の給付対象者の条件は、マウンテンバイクコース・レンタルバイクのメンテナンスの内容や大会の開催状況、PRは。星野リゾートとの協定後の進捗状況は。町営住宅使用料の徴収率が昨年度よりも低い。徴収に向けての努力はどのようにされているのか、また水道・下水道使用料の徴収においても同様の意見が出されました。

産業常任委員会

整備される

グリーンティ和東周辺

委員長 吉田哲也



グリーンティ和東周辺駐車場現地調査



グリーンティ和東改修事業の説明を受ける

まちの
“元気”を
訪ねて

だれでも いつでも 気軽にきていただける いいいの場合に

「西中さん夫婦(南区)」

7年前まで自宅として使用されていた築81年の古民家を、今年7月に農家民宿「風和里(ふわり)」としてオープンされた西中さん夫婦にお話を伺いました。

Q 農家民宿を始められたきっかけは？

A 民泊は、現在の自宅で昨年から受け入れをしていたが、以前からこの古民家を何か活用できたらいいなと思っており、まわりからのすすめもあり農家民宿を始めた。

Q 民宿を始めて、良かったことは？

A 7月14日に初めて受け入れをしたが、慣れない対応の中、「また来たい」と喜んで帰っていただいた事がとてもうれしかった。これから新しい出会いがあり、お客さんと楽しく会話することで生活に張り合いができ、充実した人生を歩むことができる。

また、一緒に協力してくれる主人に感謝している。

Q 民宿を始めて、苦労されたことは？

A 準備段階が大変だったが、昔から掃除をするのが好きで、今回の民宿をオープンするにあたってこれが活かされ、苦にはならなかった。

Q これからの町の観光については？

A いろんな方面でみなさん一生懸命やっておられるのがすごく伝わる。私達も微力ながら応援し、農家民宿を通じて町の活性化につながるようにがんばっていききたい。

Q 今後、やってみたいことは？

A 喜んで帰ってもらうことはもちろんのことですが、無理せず自分も楽しみながら自然体でやっていきたい。またお茶の知識も身につけ和東の魅力を伝えていきたい。



(取材 竹内 きみ代)

第3回定例会は、9月11日開催予定。傍聴にお越しく下さい。

編集後記

平成30年も半年が過ぎました。その間にも、いろいろな事がありました。森友、加計問題。日大アメフト問題。財務省の公文書改ざん問題。文科省の局長による裏口入学問題等々。日本という国はどうなったんでしょうか？

今年度より小学校で道徳教育が始まり、中学校では来年度より始まります。しかし、我々大人が道徳を学び直したらと思うのは私だけでしょっか？

楽しみにしていたサッカーワールドカップが始まり、下馬評が低かった日本チームの健闘に世界が感嘆し、我々も感動をいただきました。又、日本人サポーターの試合後のスタジアムの清掃も、世界に日本の価値を高めてくれました。日本人もまだまだ捨てたものではないなと感じました。

我々議員の任期も1年を切りました。議員の大事な仕事として、住民の皆様の声を行政に届ける事があります。皆様のお声をお届けいただけたら、有難く思います。

村山 一彦 記

広報編集委員会

- 委員長 竹内 きみ代
- 副委員長 吉田 哲也
- 委員 藤井 清隆
- 委員 村山 一彦
- 委員 小西 啓